

核軍縮・不拡散をめぐる 2023年の動向

『ひろしまレポート』ウェビナー
2024年3月28日

日本国際問題研究所
軍縮・科学技術センター
戸崎 洋史

ひろしまレポート2024年版

(4月中旬刊行予定)

- **核軍縮（41項目）、核不拡散（19項目）、核セキュリティ（18項目）に係る34カ国の2023年の動向を客観的な視点で調査・評価**
- **調査対象国**
 - NPT上の核兵器国：中国、フランス、ロシア、英国、米国
 - NPT非締約国：インド、イスラエル、パキスタン
 - 非核兵器国：豪州、ブラジル、カナダ、ドイツ、イラン、日本、カザフスタン、韓国、メキシコ、オランダ、ノルウェー、南アフリカ、スウェーデン、スイス、トルコ
 - ◆ 核軍縮・不拡散のみ：オーストリア、エジプト、インドネシア、ニュージーランド、ポーランド、サウジアラビア、シリア
 - ◆ 核セキュリティのみ：ベルギー、フィンランド、UAE
 - その他：北朝鮮

核兵器保有数の推移

	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
中国	250	250	260	260	270	280	290	320	350	350	410
フランス	300	300	300	300	300	300	300	290	290	290	290
ロシア	8,500	8,000	7,500	7,290	7,000	6,850	6,500	6,375	6,255	5,977	5,889
英国	225	225	215	215	215	215	200	195-215	225	225	225
米国	7,700	7,300	7,260	7,000	6,800	6,450	6,185	5,800	5,550	5,428	5,244
インド	90-110	90-110	90-110	100-120	120-130	130-140	130-140	150	156	160	164
パキスタン	100-120	100-120	100-120	100-130	130-140	140-150	150-160	160	165	165	170
イスラエル	80	80	80	80	80	80	80-90	90	90	90	90
北朝鮮 ^(a)	6-8	6-8	6-8	10	10-20	10-20	20-30	30-40	40-50	20	30
世界 ^(b)	17,270	16,350	15,850	15,395	14,935	14,465	13,865	13,400	13,080	12,705	12,512

(a) 2013～2021年の北朝鮮の核兵器保有数は、北朝鮮が生産した核分裂性物質の量から製造可能な核弾頭の数を示したものである。

(b) 2013～2021年の世界の総数に、北朝鮮の核兵器保有数は含まれていない。

出典) Stockholm International Peace Research Institute (SIPRI), *SIPRI Yearbook: Armaments, Disarmament and International Security* (Oxford: Oxford University Press).

軍事的ストックパイル：9440発⇒9576発
 作戦部隊に配備：3732発⇒3844発

核軍縮 (1)

● G7広島サミットの開催

- 「核軍縮に関するG7首脳広島ビジョン」
 - ◆ 核軍縮に特に焦点を当てた初のG7首脳文書
 - ◆ 核兵器の存在や核抑止を肯定するものだとの批判も
- 平和記念資料館の視察、被爆者との対話、原爆死没者慰霊碑への献花

● 核戦力の近代化・強化：特にロシア、中国、北朝鮮の積極性

● ロシア

- 新START履行停止（現地査察、データ提供）
- CTBT批准撤回
- 核恫喝；ベラルーシへの戦術核配備

● 米：露／中との二国間協議の打診（両国とも拒否）

核軍縮 (2)

● 核兵器禁止条約第2回締約国会議

- 「宣言」（核抑止の正当性否定など）；「決定」
- 「被害者援助・環境修復のための国際信託基金」設立の実現可能性とガイドライン可能性を検討
- 核保有国・同盟国の反対；一部の米同盟国（豪、独など）などがオブザーバー参加

● FMCT

- 国連総会決議：中国、イラン、パキスタン、ロシアが反対
- FMCTに関するハイレベル記念行事・イベントの開催（日・豪・フィリピン共催）

● 核軍縮・不拡散教育、ジェンダーを含む多様性・包摂性、市民社会の参加の重要性

- 「ユース非核リーダー基金」の第1期のプログラムの開始

	核兵器のない世界に向けた共通のロードマップ構築のための取組	核兵器のない世界に向けて	核軍縮	核兵器禁止条約	核兵器の威嚇または使用の合法性に関する[1]の勧告的意見のフォローアップ	核兵器使用禁止条約	核兵器の非人道的結末	核兵器のない世界の倫理的な重要性
中国	×	△	○	×	○	○	△	△*)
フランス	△*)	×*)	×	×	×	×	×	×
ロシア	×	×	×	×	×	△	×	×
英国	○	×*)	×	×	×	×	×	×
米国	○	×*)	×	×	×	×	×	×
インド	△	×	△	×	△	○	○	△
イスラエル	△	×	×	×	×	×	×	×
パキスタン	△	△	△	×	○	△	△	△
豪州	○	△	×	△*)	×	×	△	×
オーストリア	△*)	○	△	○	○	×	○	○
ブラジル	△	○	○	○	○	△	○	○
カナダ	○	△*)	×	×	△	×	△	×
エジプト	△	○	○	○	○	○	○	○
ドイツ	○	△*)	×	×	×	×	△	×
インドネシア	△	○	○	○	○	○	○	○
イラン	×*)	○	○	○	○	○	○	○
日本	○	△*)	△	×	△	△	○	△
カザフスタン	○*)	○	○	○	○	○	○	○
韓国	○	△	×	×	×	×	△	×
メキシコ	○	○	○	○	○	○	○	○
オランダ	○	△*)	×	×	△*)	×	△	×
ニュージーランド	△*)	○	△	○	○	×	○	○
ノルウェー	○	△*)	×	×	△*)	×	△	×
ポーランド	○	×*)	×	×	×	×	×	×
サウジアラビア	△*)	○	○	△	○	△*)	○	○
南アフリカ	×	○	△	○	○	○	○	○
スウェーデン	○	△*)	×	×	×	×	△	×
スイス	○	○	×	△	○	×	○	△
シリア	×	○	○	?	○	○	○	○
トルコ	○	×*)	×	×	×	×	△	×
北朝鮮	×	×*)	△	×	△	△	△	△

[○：賛成 ×：反対 △：棄権 ?：投票せず]

*) 前年から投票行動に変化

核不拡散

● 北朝鮮

- 積極的な核・ミサイル開発の継続
- 安保理決議に違反する調達・不法取引の継続

● イラン核問題

- JCPOAの一部履行停止：濃縮ウラン保有量・濃縮度、稼働する遠心分離機の数・性能、検証・監視（IAEA保障措置協定追加議定書の暫定適用停止など）
- 申告の完全性・正確性に関する未解決の問題
- 核合意再建に至らず（←イスラエル・ガザ戦争も影響）

● 中露：北朝鮮やイランの擁護；制裁緩和・解除の提案

● AUKUS：豪州の原潜導入にかかる保障措置の実施に関するIAEAとの議論の開始；中国などの批判

● 中国：2018年以降、「プルトニウム管理指針」に基づく報告書を未提出